

平成20年度 「福島議定書」事業 【特別支援学校】

学校名	受賞状況	主な取組内容
福島県立須賀川養護学校医大分校	H20最優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒と職員が一体となって学校全体で取り組んだ。 ・環境整備委員会は昨年度から行っている無駄使いチェックの校内見回りに加え、プラ板廃材を利用した節電・節水プレートを作成・設置を行い、操作する人の目に触れやすいよう工夫した。 ・パソコンや照明に気をつけることができるようになり、こまめに消して回る姿も見られるようになった。
福島県立あぶくま養護学校		<ul style="list-style-type: none"> ・独自の実施計画を作成し職員間で共通理解を図り、節電・節水を定期的に呼びかけている。 ・パソコンも使用しないときは電源を必ず切るようにしたり、省電力モードにするなど工夫している。 ・係中心に巡回し、教室の電気の消し忘れに対応。水道もバケツにためて洗うなどの工夫を呼びかけ。 ・文書の両面印刷を徹底。近隣事業所のペットボトル回収に協力。
福島県立須賀川養護学校郡山分校		<ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下の不要な照明の消灯や、手洗い・歯磨き時にこまめに水道を止めることを、週番の児童生徒、担当教諭が主となって互いに呼びかけあって取り組んだ。 ・日直教師は、電源コードがさしたままになっていないか等を確認しながら巡視を行った。 ・病弱・虚弱の児童生徒の体調管理に配慮しながら冷暖房の設定温度を必要最低限で使用した。
福島県立須賀川養護学校	H19入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動（リサイクル委員会）で節水や紙を大切に使用することを呼びかけるポスターを、トイレやコンピュータ室等に貼ったり、電気・水道・灯油・コピー紙の実績を校内数カ所に掲示したり、節約を呼びかけた。
福島県立石川養護学校		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回行われる「全校朝の会」で『エコレンジャー』を登場させ、3つの約束・目標（水を出しっぱなしにしない。誰もいない教室の電気は消す。使っていないコンセントは抜く。）を達成できるようにした。 ・各クラスに「がんばりシート」を配布し、目標が達成できたらシールを貼るという活動をした。 ・11月末には各クラスに「反省シート」を配布し反省した。12月にエコレンジャーからの感謝状として表彰を行った。
福島県立猪苗代養護学校	H20優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ・教室を離れる時は当番を決めて消灯。教室照明は廊下側だけで必要最小限としている。無駄な水は流さない。 ・月2回実施の「全校朝の会」で全児童生徒に地球温暖化とその防止について話している。 ・高等部との総合学習時間（カルチャタイム）に、「地球のためにできること～エコを考える～」をテーマに、リデュース班（学校周辺ごみ拾い）、リサイクル工作班（牛乳パック原料の椅子づくり）、エコ調査研究班（児童生徒のエコ取組調査、結果とりまとめ）に分かれ、活動している。
福島県立平養護学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水の呼びかけ。 ・冷暖房の設定温度、使用時間を控える。 ・生徒会によるペットボトル回収運動（回収後は業者引き取り）。
福島県立いわき養護学校		<ul style="list-style-type: none"> ・高等部生徒会で活動内容を検討し、3つの活動（使用していない教室の電気を消す。水を出しっぱなしにしないで歯磨きする。節電をするように呼びかける。）を実施することに決めた。 ・ポスターを作成し校内に掲示した。 ・学部集会や校内放送で呼びかけを行った。